

ジュゴン Vol.75

ちゃんぶるニュース

SDCC 2014. 7. 29
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS



- 2/3 情勢
- 防衛局交渉
- 4/5 特集・じゅごんの里ツアー
- ツアー報告会
- 6/7 宮良瑛子展
- コラム
- おきなわ便り

7月1日沖縄防衛局は辺野古・大浦湾での基地建設工事に「着手」しました。建設反対を訴える稲嶺進名護市長が1月に2期目の当選をし、74%の沖縄県民が反対するなかでの着手は、日本政府の民主主義の軽視と軍事優勢の態度を顕著に示しました。同時にこれは、米軍が基地建設工事のための立ち入りを日本政府に許可したということの意味し、それ自体、大きな問題といえます。

2008年1月、米国国家歴史保存法（NHPA）のもと米国連邦地裁で行われたジュゴン訴訟の判決で、米軍は、基地による「ジュゴンの文化的／歴史的価値への影響を考慮せよ」と命令されています。「考慮の手続き」を終え、「影響がない」とされない限り、基地建設を進めてはいけな、という判決です。

それゆえ今回の工事着手は、米軍が「考慮の手続き」を行い、「影響がない」という結論で、工事のための立ち入りを許可したことを意味しています。

しかし私たち市民は、いつその手続きが行われたのか、そしてその結果についても何も知らされていません。実際、原告もこの手続きが行われたのかを知らされていませんでした。

工事着手とジュゴン訴訟 今後の展開

米国内でNHPAが適用される場合、事業者と多様な利害関係者との「協議」や、専門家への照会が行われます。原告や自治体の長、そして地域住民／市民団体が協議の対象となりえます。なぜなら文化・歴史的価値を認識しているのは地域住民や市民だからです。そしてその手続きは開かれた形で行われていきます。

秘密裏に行われた「考慮の手続き」。公開されない結果や手続きに関する文書。自国の法制度を形骸化させてまでも建設を進める米軍の姿です。

しかしこの状況は、市民社会が米軍や米国社会に対して、直接訴えかける大きな機会であるともいえます。なぜ秘密裏に行われたのか。どんな文書が提出されたのか。これらの問いは裁判でも追求されていきますが、私たち市民としても、直接米軍に問い質し、より国際的な市民運動を展開することが可能です。SDCCとしても取り組んでいければと思います。（沖縄 吉川秀樹）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



じゅごんの里ツアーで辺野古の海に浮かぶ平島にて水中観察（4&5面）



丸木美術館で開催された宮良瑛子展への鑑賞ツアー（6面）

情勢

「集団自衛権の出撃基地～沖縄」



＜集団自衛権の閣議決定＞

安倍内閣は7月1日に集団自衛権行使を閣議決定しました。集団自衛権とは、「自衛」ではなく他国の戦争に積極的に参加することです。憲法9条違反だけでなく、歴代内閣の専守防衛方針にも反します。「平和の党」公明党も、与党のうま味を捨てられず容認しました。安倍内閣は10数本の関連法案を、来年の通常国会に一括提案するようです。安倍内閣は辺野古新基地建設とともに、宮古島や与那国島への自衛隊配備や、オスプレイの普天間配備、高江の訓練基地建設などを積極的に進めています。昨年12月の新防衛大綱で中国を仮想敵国にし、「南西諸島への攻撃に対応するため」です。

＜辺野古の軍港化＞

沖縄タイムス(6月16日)は「辺野古基地建設計画で接岸できる距離が当初より長くしたのは、ホーバークラフト型強襲揚陸艦を接岸するため」「弾薬搭載区域が予定より2,600㎡広い1万8600㎡」「2005年8月1日付の『海兵隊の北部統合計画』で軍港機能構想が検討されていた」などを暴露しました。すでに、1966年12月29日付の「海

兵隊飛行場マスタープラン」で、深度30mを超える大浦湾は軍港に適しているとしています。辺野古新基地建設は普天間基地(弾薬庫がない)の代替施設ではなく巨大な軍港であり、「日米共同訓練」の出撃基地であることは言うまでもありません。

＜本土で連帯する闘いを＞

辺野古・大浦湾の埋め立ては防衛省の思い通りには進んではいません。名護市役所は申請書類の不備や、生活や自然、文化財保護の観点から、徹底して引き延ばしているからです。7月下旬の海底ボーリング調査も、戦時中の不発弾の探査から始めなければなりません。また、海底ボーリング調査がサンゴやジュゴン、海草への影響を低減させなければなりません。ヘリ基地反対協は現地盛り込みと監視抗議行動を呼びかけています。今こそ、本土での連帯行動が重要です。9月には名護市議会選挙(定数27名、投票日は9月7日)があります。稲嶺市長を支える与党市議予定候補16名、全員当選をめざしています。野党も過半数を獲得するために候補者を絞っています。SDCもスタッフを現地に派遣し、東恩納琢磨議員(2期)の再選を実現するために頑張ります。

基地予定地で、今年5月からの約2カ月間で絶滅危惧種ジュゴンの食跡が合計110本以上確認されました。辺野古はジュゴンの重要な生息地です。



* 発見されたジュゴンの食痕の位置 (5月16日から7月5日)
 図: 日本自然保護協会

2014年6月18日、シュワブ大浦湾側(美謝川河口)
 写真: 北限のジュゴン調査チーム・ザン

沖縄防衛局交渉報告

～海上ボーリング調査のめど立たず～
見切り発車と既成事実の積み上げを許すな！

6月30日沖縄防衛局と交渉。7月にも実施されると報道された海底ボーリング調査や11月着工とする埋め立て工事等の日程等について追及。県のマニュアルに添って船からの磁気探査、潜水による磁気探査、それらをふまえて21本のボーリング調査に入る手順であることを確認し改めて日程をただすと、防衛局は7月と発表したことはないと言う。また上記の調査をふまえて完成する実施設計に基づく埋め立て工事についても、報道された「11月埋立着工」は承知していないという。

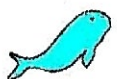
また土砂調達搬入計画と外来種対策については購入土砂の供給先や供給業者は未定であるが、供給先が決まった段階で県に土砂調達搬入計画書を提出するとし、外来種のチェックについては搬入直前に行ない環境に影響を与える土砂は使用しないことを業者との契約書に明記する。また、必要に応じて専門家や環境省の意見を聞いて、沖縄防衛局が独自の調査を行ない、問題ありと認める土砂は使用しないとした。



更に名護市とは、文化財保護（海中含む）や辺野古ダム周辺の切土による赤土対策などについて必ず協議すると確認させた。

政府は順調に工事が進んでいることを強調しようとしているが、思う様には進んでいない。しかし、見切り発車は彼らの常套手段だ。今後の動きをしっかりと監視し阻止しなければならない。

（沖縄在住 高垣喜三）



「防衛省のマスコミ誘導」



沖縄タイムス(7/1)1面トップに「7月1日に着工」との見出しが躍りました。

前日の沖縄防衛局交渉で、海底ボーリング調査は不発弾調査の磁気探査(船から40日、潜水で140日)を終えてからと確認していたので、びっくり。よく読むと「キャンプシュワブ内の滑走路上の建物解体工事の着工」で、「海は7月下旬から」とのこと。ところが、旧兵舎などの建物解体工事はすでに始まり、完了しているものもあります。防衛省が米国向けのパフォーマンスでマスコミに書かせたのです。辺野古問題を取り上げない大手マスコミが、こぞって記事にしていました。しかし、建物解体工事はストップしています。7月9日県民会議が沖縄防衛局に建物解体工事で発生するアスベスト対策を求めたからです。

沖縄県などの現地立会調査で解決するまでストップです。なぜ急いで始めたのでしょうか。埋め立て作業ヤードのための漁港使用申し込みが名護市に受理されないからです。めどが立たず、焦る防衛省、安倍首相の顔が見えてきます。(事務局 蛭川義章)



キャンプシュワブゲート前にテント村が出来、連日の抗議行動が続いています。



第9回じゅごんの里ツアー



今年は、6月27日～29日の2泊3日、7月からの調査開始が迫る緊迫した中でのツアーとなりました。参加者は、首都圏4名、関西14名、沖縄6名の24名。

1日目、先ず首都圏は宜野湾市の佐喜真美術館へ。関西は、普天間基地見学。そのあと合流して、名護市東海岸の名護市役所久志支所で、地域おこしについてお話を伺いました。

2日目は、朝、辺野古テント村での海底ボーリング調査反対の海上パレード・集会に参加し、辺野古浜のフェンスにバナーやリボンを結びました。その後、大浦湾で

シュノーケルを楽しみ、ここ最近ジュゴンの食み跡がたくさん見つかった、埋め立て予定地周辺も見てきました。また、一部の参加者は、ヘリパッド建設反対座り込みをされている高江のテント村に行ってきました。

3日目は、東海岸の天仁屋、嘉陽、安武などを巡るコースと、大浦の集落とマングローブ林を巡るコースに分かれ、それぞれ自然・歴史・文化を学びました。

厳しい情勢の中、名護市が基地に頼らない地域づくりを着実に進めていることを実感するツアーでした。

(関西 山根富貴子)

1日目



オバマ大統領へバカを送るプロジェクト事務所を訪問後、普天間基地の目の前にある赤嶺さん自宅の屋上へ。



名護市地域おこしコーディネーターの松尾太土さんから、東海岸の見どころ、地域おこしの課題についてなど伺いました。

辺野古NO BASE ガラリー。

篠原さんから、10年以上座り込みを続けているテント村の闘いについてや、ピースリボン・ピースバナーの由来をお話いただきました。

2日目



会場パレード・集会には約300名が参加



大浦湾を一望する瀬高の灯台跡

3日目

東海岸散策コース

島袋正敏さん



貴重な古酒の試飲にワクワク☆ 黙々100年塾・蔓草庵が泡盛古酒作り・物作りなどを通して感性、創造性を培う活動拠点



わんさか大浦パーク企画の“大浦のんびりさんぽ”に参加



地域ガイドの友利さんの、味のある案内で、名護市天然記念物のマングローブ林や集落を散策しました。

会員になってから送られて来るレターで知るジュゴンの里ツアー。行きたいとずっと思っていたのですが、仕事を辞めた今年実現しました。なんといってもこんなツアーでなければ会うことのない人たちとの交流がすばらしい。ご夫婦や単身で沖縄への想いの果てに大和から移り住んで活動する方々。その想いの純なことに心を打たれ、辺野古の浜に座り込むおじいやおばあのたくましさに脱帽でした。ちょうど地元練馬で「標的の村」の上映会をしたばかりで、現地に行けたことも大きなことでした。上映会のある教会の方にきた「沖縄のシスターは実際行動、東京のシスターは1回抜いた昼食代を沖縄に送り、それぞれが祈る。その祈りの気持ちをひとつにするためにこの映画を皆で見ることにした」とおりにあの暑いテントに数人のシスターたちの姿をみつけて深く納得しました。

(首都圏 中矢里枝)



初参加者からの感想

沖縄には家族旅行で数回行ったことはありましたが、今回はスタディツアーということで今まで観光で見ていたのとは違う沖縄の顔を見ることができたと思います。1日目のプロジェクトオーの事務所では、説明を聞いている間に何度もオスプレイが目の前を飛んで行きました。テレビニュースで見て、知った気はなっていたけれど、実際現地に行って「こんなに近くを飛ぶのか」「こんなにうるさいんだ」と振動を体で感じて、ただただショックでした。2日目の、楽しみにしていたシュノーケリングでは、すぐ目の前に米軍のキャンプシュワブが見えていました。とても綺麗な海で、ここが埋め立てられて基地が作られる予定だとは信じられず、この事実をもっと沢山の人の広めていかなければいけないな、と感じました。(中野)



事務所の真上を飛ぶオスプレイ



平島でのシュノーケル体験

すぐ向こうにキャンプシュワブが見えます。



宜野湾市の地図で、基地被害を説明する赤嶺さん。ゴーヤチャンプルー、冬瓜スープ、もすくの酢の物など、おいしい沖縄料理をこそうひりました。



「沖縄旅行に興味ある?」の声に、2つ返事で参加した沖縄ツアー。特に印象深いのが、赤嶺さんの話しとジュゴンが食する海草を食べたことです。新聞で知っていた事と、赤嶺さんの話・自分の頭上間近で見たオスプレイに圧倒されました。憲法で保障されているはずの人権でさえ、公然と侵害されている現実に強い憤りと何か強い気持ちがわいてきました。その一方で、リゾート沖縄の風景に出会え、ジュゴンの生息地近くの藻場でのシュノーケリングでは、ジュゴンの食する海草をかじって食べたり、本当に楽しかったです。今回は、自分なりに深い気づきがあったツアーとなりました。スタッフの皆様 ありがとうございました。(コギンちゃん)

ジュゴンの里ツアー報告会を終えて

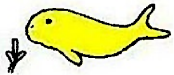
田中優佳 (カシオペア & ホルトヨガ大阪スタジオ主宰)

2011年にカシオペアというギャラリーで牧志治さんの大浦湾の写真展を行いました。写真から伝わってくる自然がすばらしくいつか辺野古へ行きたいと思いました。今年ジュゴンの里ツアーに参加し、報告会「辺野古とジュゴンと基地のおはなし」をヨガスタジオで行いました。折り紙を折ったり、ビールを飲んだり、ご飯を食べたり、報告を聞いたり、映像を見たり、マッサージを受けたり、それぞれの参加スタンスがいろいろ感じました。私自身は念願の大浦湾の自然や人の力強さにふれ、戦争と平和の選択はその自然の有様を受け取る人間の感性の問題だと強く感じました。今後もこのテーマをゆるりと話せる場を身近な人達ともやっいていこうと思います。



報告

宮良瑛子さん個展
鑑賞ツアーをとくんで



一昨年、原爆の凶・丸木美術館の小寺理事長から、「宮良瑛子さんの個展を開催することが決まったので、賛同団体に・・・」とのお話を頂き、早速SDCCも賛同団体として名を連ね、宣伝活動も行ってきました。月日はあっという間に過ぎ、つい今年、全国に散らばっている宮良さんの大小約80点の作品群が丸木美術館に集合。

SDCC首都圏では「鑑賞ツアー」を行いました。丸木夫妻の「原爆の凶」に、言葉を失うほど圧倒され、宮良さんの作品群もまた、平和を追求する圧巻の表現力で感動の連続でした。

宮良さんは今展に際し、「沖縄のおかれている現実の辛さや不合理、言葉や音で言えないことを絵で発言したい」と思って描いてきました。本土の人にも絵を通して沖縄問題への理解を深めてもらえれば・・・と話しています。小寺理事長は「米軍基地など、沖縄に犠牲を押し付ける構造や沖縄の人々の痛みをもっとよく知るために宮良さんの作品から何かを感じ取ってほしい」と、企画の意義を伝えていました。

当日は、埼玉県の史跡・百穴や岩室観音等の見学と戦時中朝鮮人労働者が多くかかわった軍需工場跡地を見学し、ジュゴン勾玉作りも体験するなど、盛り沢山の内容になりました。楽しんで学んで感動しての意義ある一日でした。
(首都圏 宮城 韶子)

新基地建設を許さない17・19集会&デモ

7月19日、雨も心配される中、千駄ヶ谷区民会館での「辺野古の海を埋め立てるな！新基地建設を許さない17・19集会&デモ」に300人余りの人が集まりました。

まず最初に「辺野古阻止行動の記録2004-2013」を上映し、2004年からの辺野古の阻止行動やオスプレイの反対行動、評価書の持ち込みの阻止行動などを振り返りました。そして名護選出の県会議員の玉城義和さんが琉球時代から振り返って話してくださいました。

1995年に暴行事件があって県民大会が行われて以降、4回の県民大会を行ってきて、その結果を「建白書」として政府に提出してきたが、その動きは単発であったこと。持続的に行動していくために「島ぐるみ大会」を結成、27日に大会を行うこと。今度の知事選が重要であること。辺野古でまさに今行われている制限水域の拡大や開港法を使って反対運動を弾圧しようとしていること。そして基地が返還されてから経済効果があることなどをわかりやすく話

されました。その後、稲嶺市長のメッセージ、連帯の挨拶などがありました。

4時過ぎから「埋め立て反対、ボーリング止めろ」と原宿から渋谷を一周するデモを行いました。ひどい雨には降られず、元気よくデモをしました。(首都圏 加藤 宣子)



沖縄県知事選挙の行方 ～こらむ、こらむ～

沖縄県知事選挙の投開票日は、11月16日の日曜日である。沖縄だけではない、日本の政治潮流を変えるかも知れない、大変重要な選挙である。果たして沖縄の未来をどうすればいいか。県民自らが決断を下さなければならぬが、いよいよその「時」がきたと実感出来る選挙戦が、四ヶ月間闘われることになる。

沖縄県民を二分しての県知事選。従来は保守対革新共闘で闘う構図であった。だが、今回は候補者選定の段階から違っていた。安倍内閣の沖縄政策に対して「イエスカノーか」の選択肢を付けられた沖縄県民は、圧倒的に「ノー」の意志でまとまったからだ。

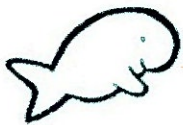
2013年1月、沖縄の41市町村の首長、議会が大同回結して上京。日本政府に対しオスプレイ配備撤回と米軍普天間飛行場の県内移設断念を求める「建白書」を差し出して奏上した。だがしかしその「オール沖縄」の熱い思いは無視され、「建白書」も紙切れ同然に扱われた。そここのところから、明治以降の軍事植民地化の歴史的屈辱に対する怒りが再び「オール沖縄」の闘いに至らしめたのであった。

そこで「オール沖縄」側の知事候補に浮上したのが、現那覇市長の翁長雄志氏である。一方で安倍自公政権側の傀儡候補者は、やはり現知事の仲井真弘多氏しか見当たらない。石破自民党恊働隊長は難色を示したが、結局「オール沖縄」の看視の眼の光る中で耐えうる人は他におらず、仲井真が3選出馬に賭けるしかなくなったと言える。

しかし、県政与党の公明党は安倍による集団的自衛権行使容認に納得しておらず、公明党中央との距離を置いている。それに何より次の選挙で不利なことはしたくないであろう。同様に翁長雄志を一丸となって推薦した自民党那覇市議団も、不退転の決意で安倍政権と対峙。「大義は我々にある」と言い放ち、自民県連の処分の威しにも動じていない。

そんな中、滋賀県知事選で自公候補の敗北が伝えられてきた。だがしかし、選挙は最後まで分からない。むしろ選挙後をどうするか？と我々は考えねばならぬ。ジュゴンをどうするか？である。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）



おきなわ便り

☆元気の源は食べること!!☆

真夏の沖縄。猛暑日が続いています。訪問介護をしているので、オジー、オバーと話す機会が増えました。

そこで気がついたことがあります。
『元気なお年寄り、食べることを楽しんで話す』ということ！

「水を沸騰させて、庭でつんだフチバー（よもぎ）を手でちぎって入れて冷まるまで置けば、美味しいフチバー水ができるさー」

「しびい（とうがん）の煮物は、ぶつ切りにして、ざるに入れて塩をふり、ポンポンとざるをふって塩気をとれば、しびいは煮くずれしないさ。手で揉んではダメよ。カツオだしとマースで味付けして。醤油は色が茶色くなり苦くなるから入れたら美味しくないさー」

「ブリの頭汁の一番美味しい食べ方は、マースのみでの味付

けだよ。物足りなければ宮古みそ入れてもいいさー」

「ポークは、アメリカンポーク（SPAM）だけが美味しいよ。その他のポークはポークでないよ」
話の締めには、どの方からも「あんたも作ってごらん。美味しいよ」と言われます。

調理すると「ほんとだ！」と納得の味。ウチナー料理のレパートリーが増えたので、料理が上手になってきたのでは？と喜びにひたっています。

夏バテせず訪問をこなせているのは、教えの通り食べているからだろうな～と感じています。

オジー、オバーから元気をもらい感謝の毎日です。
（沖縄 仲村）



庭に植えたフチバー。生活の中に元気の源が。

《 今後のスケジュール 》

【首都圏】

◆ポーリング阻止行動-辺野古の海に杭を打たせない!-を
展開中

◎8月4日(月) 防衛省前抗議行動午後6時半から

場所: 防衛省(市ヶ谷駅・四ツ谷駅下車8分)

◆9月23日(休) エコメッセ千葉~ 10時~16時

場所: 幕張メッセ(JR 海浜幕張駅)

【関西】

◆8/2-3 平和と民主主義をめざす全国交歓会大阪大会

場所: 2日クレオ中央ホール、3日エル大阪ほか

◆8月17日(日) 上関の自然を守る会 国際シンポ京都

大学農学部総合館1F 大会議室 13:00~16:00 500円

◆8月24日(日) 「標的の村」上映会

能勢浄るリシアター・小ホール(能勢電 山下駅下車バス)

沖縄の旅・こぼれ話② 伊江牛の災難



上: わびあいの里の
反戦平和資料館
右: 阿波根昌鴻さん



沖縄の平和への運動に強く関心を持つきっかけになった阿波根昌鴻さん。「わびあいの里」に念願叶い訪れました。本部に住む高垣さんの案内で謝花悦子さんからお話を聴かせて頂きました。わびあいの里のスタッフのAさんに伊江島をぐるっと案内してもらっていると、本部は美味しいよ〜と自慢げな高垣さんが「伊江牛は可哀そうだね」と。本部は全国の品評会で受賞歴がある実力派。伊江牛は、オスプレイが飛ぶようになってから、流産・死産が増えていて、低周波の影響が心配されているのです。牛だってのびのび安心して暮らしたいよね。オスプレイは要りません! わびあいの里にある「反戦平和資料館」は小さなスペースですが、平和への願いがぎゅっと詰まっています。ぜひ、一度訪れてみて下さい。(関西 池側恵美子)

ジュゴンでトレイン!

SDCCでは、毎月15日をジュゴンの日として、沖縄ジュゴンを広める機会にしています。それに合わせて9月15日に、ジュゴンでトレイン!を開催します!ジュゴンの着ぐるみや、紅型衣装で、にぎやかにジュゴン保護をアピールします。

14:00 大阪駅前陸橋上集合 14:30 環状線に乗車予定
ジュゴンの海を守りたい!という方は是非、一緒に参加してください!

あなたのまちでジュゴンでトレイン!

~日本中から、世界中から写真を送ってください~



タイからのメッセージ

「大阪まで行けないけど参加したい!」という方は、お住まいのまちで、ジュゴンのマスコットを身につけたり、「Save the Dugong」というアピール文を掲げたりして、写真に撮り送ってください。昨年は、沖縄、名古屋、東京など各地から、海外はタイからも送られてきました。どんどん広げよう~!



お願いします

スタッフ派遣カンパ

8/31に名護市議会議員選挙が告示されます(投票日は9/7)。東恩納琢磨市議の再選をめざしてスタッフを派遣します。ぜひカンパ協力をお願い致します。

Editor's Note

じゅごんの里ツアーの大浦湾めぐりのときに、ジュゴンの食み跡がたくさん見つかったシュワブ沿岸に行ってきました。ジュゴンがエサを食べに来ているのがわかっているのに、埋め立て計画が変わらないなんて、本当におかしいことです。来年も、再来年も、ずっと、豊かな海を堪能できるツアーをするためにも、もっともっと声を上げていかなばと決意を新たにしています。(山根)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.75 2014年7月29日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区土土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!